

東久留米市内社会福祉法人連絡会 事業検討分科会の名称変更について

1. 名称変更の提案

現在の事業検討分科会を社会貢献分科会に変更することを提案する。

2. 提案の経過

事業検討分科会では、活動を開始して以来目標としていた『連絡会全体で取り組む社会貢献（地域公益）事業』について検討を続けてきた。

そんな中、市民ボランティアの手により市内でも実施され始めたフードドライブ活動に連絡会として協力可能ではないかとの意見があがった。日常的に福祉に取り組む法人としての視点でこの活動に協力することで、直接的または間接的に困りごとを抱える市民の状況を知り、顕在化しにくい福祉課題の早期発見につながるができるとの考えからである。

しかし、同時に複数の懸念点もあがったため、当分科会所属の法人が約2年に渡って本活動に試行的に参画し、その効果や課題を検証した。

結果、新たな準備や現場への負担もほとんどなく、地域貢献できることがわかった。なにより、この活動の先で食料や日用品を必要とする市民の多くが抱える背景（生活課題や福祉課題）について、改めて考えるきっかけとなり、私たちが地域に期待される社会福祉法人へと成長する大きな一歩となった。

そこで、事業検討分科会は、本活動への協力を令和6年度から正式に本連絡会による社会貢献事業のひとつとして位置づけたい旨、第9回総会議案1で提案した。

今後、これを軌道にのせ定着させる役割を担う分科会として、より実態に即した名称にしたい趣旨からここに提案する。

3. 社会貢献分科会の役割

連絡会全体で社会貢献事業に取り組むにあたり、その意義や目的の共有を行うとともに、本活動を定着させるために必要な工夫や協力方法の提案、どのように活動を広げていくか等について具体的に検討をすすめる。

特に、各法人が可能な範囲で、かつ多様な関わり手法で取り組みに参画できるよう工夫する。

4. 今後の事業検討について

新たな事業について検討を進める役割は、当面、幹事会にて担うこととする。